

山崎高等学校 同窓会便り

No.
52

山崎高等学校に縁のある、「ひと・こと・もの」をつなぐ年会誌

発行日／平成26年11月20日
発行所／県立山崎高等学校同窓会
印刷所／(有)マウス

<http://www.yamako-dosokai.jp/>



ようこそ「同窓会だより」

初心にかえって

山崎高等学校同窓会

会長 本條 潔

(第16回生)



光陰矢の如し、同窓会のご挨拶を申し上げるのも早や三期目となりました。会員の皆様におかれましては、益々ご健勝で活躍のこととご推察申し上げます。母校におきましては、校舎の耐震補強工事が進んでおり本年度末には第一期工事が終了する予定です。

さて本年度より副会長を増員し四人体制とし、新たに志水宣之

氏（昭和四十六年卒）谷笹摩弥氏（昭和五十七年卒）に就任していただきました。今後は、同窓会運営の強化と女性会員の活躍の場の拡大に努めて参りたいと思います。

去る六月に山高文化発表会が行われ、初めて観させていただきました。各クラスの合唱コンクールや演劇部の生徒達の演技に感動!! それぞれ練習成果をいかになく発揮してくれました。当日はスベシャルゲストとして歌手で俳優の瀬戸直人氏（猶原哲生 昭和五十年卒）が参加してくれました。彼は実業市の初代観光大使に任命され、実業市の応援歌「ふりむけば故郷」を披露していただくとともに、後輩へ熱いメッセージを贈っていただきました。生徒達にとって良い刺激になったことと思います。

前回のご挨拶で少し触れましたが、改正地方教育行政法が成立し、教育委員会制度が見直されることとなりました。兵庫県においては

来年度より高校の通学区が再編され、実業市内における教育現場の状況も大きく変わる要素を秘めています。少子化の影響による生徒数の減少が進む中、生徒の確保は学級数の維持やひいては学校の教育活動自体に大きく影響してきます。そこで先日「山崎高校の将来について考えるタウンミーティング」を開催いたしました。実業市内の中学校校長並びに進路指導の先生方、さらにPTA役員の方々にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。その中で実業市内（伊和町 千種町 山崎町）の三校の中で最大規模である山高のリーダーシップを求める意見が多かったように思います。閉会時には、山高のさらなる発展の為にこのような機会を定期的に開催するべきとの意見で一致しました。

近年 各種団体の帰属意識が薄れ、個人主義的な風潮が強まる中、同窓会や母校への愛着心の低下が危惧されています。理事会としては各回生の同窓会の開催や部活動の支援等に積極的に取り組み、在

校生と同窓会の連帯感の醸成に貢献できるよう努力していきたいと思っています。その為にもこれからの同窓会として、時代の変化に適応しつつ愛校心を喚起し、同窓生の連帯感を高めるような新事業の必要性を痛感しています。若く新しい魅力の創出を目指して、理事会の活性化を計ることも不可欠です。皆様からの更なるご参加、ご支援を賜りたく切にお願い申し上げます。



50年前の山高全景

地域とともに 未来へ歩む

校長 西川 茂樹



同窓会の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本校教育に対しまして温かいご理解と力強いご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

山崎高校は百年を超える伝統を誇り、地域の中心校として三つの学科がそれぞれの特色を発揮しながら、学校全体が一体となって文武両道に励んでいます。

文化発表会の合唱、体育大会の山高体操や行進など、ひたむきに取り組む山高の伝統は健在です。

生徒たちの素直で前向きな姿勢と活力に、大きな伸びしろを感じているところです。

森林環境科学科では生活創造科にならない本年度より二年生全員が五日間のインターンシップに取り組み、キャリア形成に大きな効果をあげています。県学校農業クラブ連盟大会では七部門に出場した全員が入賞し、第一回スウィーツ甲子園では最優秀賞に輝くなど、両学科とも専門学科ならではの学習成果を大いに発揮しています。

普通科では週三十二時間の授業の中で多様な学力や進路希望に適切に対応したきめ細やかな学習指導を展開し、特に文理科学類型では大学見学や著名な講師を招いての講演会、補習や学習合宿など多彩な学習を展開しています。

また、地域と連携した活動では、空き店舗をお借りした「山高街の駅」に加え、新しく里山教室を開設しました。小学生をはじめ地域の方々に生徒たちが木工・食事づくり・散策などを通して里山の大切さを伝えています。地域の方々やPTAと一緒に防犯避難訓練

練は、炊き出しや避難所設営など生徒の企画を取り入れ年々進化しています。

来年度から普通科が一学級減となり、複数志願選抜では新学区が導入されます。それらに備えて、地元中学校と本校教員による授業研究、中・高校生による部活動交流、中三生保護者対象の意識調査、生徒会による広報誌の配付などの新たな取組により、地域との連携を深めるとともに情報発信をさらに

強く押し進めているところです。

少子高齢化や人口減少が進行する中、確かな学力を伸ばし、個性と笑顔が輝く山高づくりによって、同窓生の皆様の期待に応えるべく、実業に生き、実業を活かす人づくりに挑戦してまいります。

最後になりましたが、皆様方今後ますますのご健勝をお祈り申し上げ、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



山崎高等学校
創立100周年記念
山崎高校は、山崎町にあり、山崎町の発展に貢献しています。



ようこそ「同窓会だより」

新役員挨拶

副会長 志水宣之

(第23回生)



同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと拝察いたします。平素は同窓会運営にあたたかいご理解とご支援を賜り、誠に有難うございます。厚く御礼申し上げます。本年度同窓会総会にて副会長に選任されました志水宣之と申します。何分にも若輩にて浅学非才の身ではございますが、本條会長を補佐し、全力で重責を全うする所存でございます。一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

私は昭和二十八年一月生まれで、山崎小学校から、山崎中学校へと進み、当然のように山崎高校へ進学しました。(我々の時代は山崎中学校から進学する生徒は一〇〇%山崎高校へ、という流れでした。)大学卒業後帰崎し、地元実業信用金庫(現西兵庫信用金庫)に入庫、現在専務理事をやっております。山崎生まれの山崎育ち、根っからの地元人であります。

昨今の少子化、高齢化、過疎化、地元経済情勢等、取り巻く環境は非常に厳しく、実業市は所謂「消滅可能性都市」の中にも入っております。その上二〇一五年からの公立高等学校区再編等我が山崎高校も乗り越えなければならぬ様々な問題も浮上しています。このピンチをチャンスと捉え、我々の母校と若い同窓生の輝かしい未来の為、同窓会のネットワークを更に活性化させるお手伝いをする事で僅かながらもご恩返し出来るのではないかと思っております。

尚、本年九月より西兵庫信用金庫本店北側ショーウィンドーに山高生徒達による地域活性化の為の

季節テーマ別作品(軍師黒田官兵衛)を展示しています。機会がありましたら見てやってください。お願いいたします。

副会長 谷笹摩弥

(第34回生)



寒さもひとしお身にしみる頃となりました。

日に日に秋が深まり、山々の紅葉も一段と美しく色づいてまいりました。同窓会の皆さまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、山崎高校同窓会副会長を命ぜられ、責任の重大さをひしひしと感じております。山崎高校は前身の女学校時代からの一〇〇

年以上の歴史を持ち、現在、普通科、森林環境科学科、生活創造科の三学科があります。県内唯一の森林環境科学科は創設以来、地元の林業に携わる家庭の御子息はもとより、遠方からの生徒さんも希望されて通学されていたと聞いております。また生活創造科は近年、様々な資格取得が可能な学科として注目されています。

さて、来年度より兵庫県では、公立高校の受験制度が大きく変更され、十六あった学区も五学区となり広範囲からの生徒募集が可能になりました。子どもたちはこの変化に対応しなければならず、心の負担も増すのではないかと思います。私たち同窓生は彼らと正面から向き合いながら、子どもたちの可能性をみだし、未来が見えるページを示すことができるように一歩を踏み出したいものです。

微力ながら魅力ある同窓会になるよう尽力させていただきますので、皆さまのご意見ご協力を賜わりますことをお願い申し上げます。挨拶いたします。



います。また、サークルにも所属し、学科や学年を超えて交流できることによい刺激を受けています。楽しいことだけでなく、つらいこともありますが、周りの人々に恵まれ、支えてもらいながら充実した大学生を送っています。

今、高校生活を振り返ってみると、郷愁の想いが溢れてきます。大好きな仲間達や先輩・後輩、お世話になった先生方の顔が次々と浮かんできます。制服に身を包んだみんなの姿が切なく、美しく、記憶の中から蘇ってきます。眠かった授業、はしゃいだ休み時間、母のお弁当、築き上げた部活動、学

校帰りの寄り道。あんな当たり前だったものすべてが愛しい思い出です。たくさんの人たちに包まれていたあの三年間こそが、今の私を支えてくれています。

後輩のみなさんに伝えたいことは、「家族に感謝することの大切さ」です。私は一人暮らしを始めてから、家族のことを思い出す時間が増えました。いつもなら「いつてらっしゃい」「おかえり」と言ってもらえるのに、家事も全部してもらえるのに、話し相手になつてくれる人がいるのに。そんな当たり前だと思っていたことが、本当はとても温かく有り難いことだった

んだと分かりました。

身近すぎて特に意識することもない家族だからこそ、みなさんにはもう一度家族について考えたり、思いやりたりしてみたいなと思います。

これからみなさんは、進路実現に向けて努力を積み重ねていくで

平成二十六年度

兵庫県立山崎高等学校 同窓会理事会

六月十四日、平成二十六年度理事会が開催されました。

本年は学校が耐震工事中のため、市内「日新会館」で開催いたしました。

学校関係者を含め、四十六名の方々の出席をいただきました。昨年度行事報告・会計報告に続き、会則の一部（副会長の定員を現行の二名から四名にする）改正が提案され全会一致で承認されました。

本年度は役員改選の年に当たり、つぎのとおり会長等が選任されました。

会長：本條 潔（三十九年卒）（再任）
副会長：宇野正憲（四十年卒）（再任）

しょう。くじけそうになる時が何度もあるかもしれません。しかし、苦しい日々の先には、明るい未来がみなさんを待っています。今は大いに期待と不安を抱いて下さい。みなさんが期待を原動力に、不安をバネにして、将来大きな幸せを掴むことを願っています。

安井唯善（五十三年卒）（再任）

志水宣之（四十六年卒）

谷笹摩弥（五十七年卒）

久しぶりに女性の副会長が就任され、女性会員の活躍を広げて頂きたいと思います。

本年「同窓会名簿」発行、例年通り第五十二号の「同窓会便り」の発行が予定されていることが報告されました。また、阪神支部長の花本氏も遠路出席頂きました。

兵庫県観光親善大使に任命されておられる瀬戸直人（芸名）氏、本校の同窓生（千種の出身、猶原氏）が参加され、最後に「ふるさと大衆」をテーマにした歌を披露して頂きました。昼食のお弁当を頂きながら、和やかな歓談をし、その後、山崎高等学校並びに同窓会のますますの発展を祈念し散会いたしました。

シリーズ
「懐かしき我が恩師」

思い出 赤松 亨

私は、前任校（姫路南）から山崎高校に赴任し、三十年間勤務させていたでいて、この度教師生活を終えることになりました。

四季に恵まれた環境、全校三十クラス（各クラス四十五人）の大規模校、元氣な挨拶、活発な部活動、真面目な授業態度、活気に満ちあふれていたのが第一印象として残っています。



現在の赤松亨先生

その後、少子化とは言え、生徒数が各学年9クラス、8クラス、7クラスと減少していくのが残念で寂しさを感じていました。

週五日制（土曜休日）、入試改革（推薦入試導入）などの影響で、授業時間数を確保するため学校行事が見直されてきました。

一・三学期、各二日間実施していた球技大会を、一学期の一日に、体育大会においては、学年演技を主とした種目から入場行進をメインにして、全校生参加を予定、本番の二日連続のプログラムへと見直し、デコの製作も規模の縮小、

製作日数も減らしながら現在のクラス旗へと変えられました。

紙製の校内マラソン大会、長い間山崎南中学校を折り返していたが、交通量の増加、山崎警察署からの指導もあり、数年前から菅野川を北上して青木方面へとコースを変更しています。

高度経済成長期、光化学スモッグ発生でグラウンドでの活動中止、汚泥がくるぶしの上まで溜まったブルの清掃。山崎高校では考えられないことを前任校で経験しました。こんなに自然に恵まれた学校は県下でも数少ないと思います。

本館、体育館からの桜、新緑の眺めは特に素晴らしい、心を癒してくれました。

こんな「しそ」をもっと観たく、機会あるごとに山崎町（上ノ、大沢から小茅野、鷹巣、波賀町（戸倉峠から横行、音水、東山）、千種町（スキー場から大茅、栗倉、河内から若桜）、一宮町（福知から砥峰、峰山、公文から道谷、千町）など自然を求めてドライブ、ハイキングをするのが楽しみでした。まだまだ行っていない所が数多くありますので、今後の楽しみにしています。

好きなバレーボールを素直な部員・マネージャーと共に毎日練習に励み、少しでも良い成績を目指した大会など、生涯の思い出になると思います。

他にも沢山の思い出があります。伝統ある山崎高校で三十年もの長い間楽しく勤めることができたのも、素晴らしい生徒、先生方に巡り会えたからだと思っています。ありがとうございました。

来春から入試が大きく変わりますが、わたしにとって思い出深い伝統ある山崎高等学校が今後益々飛躍することを祈念いたします。

同窓生の庭

全国に広がる同窓生に皆さんによる、情報、企画のコーナーです。おたよりもお待ちしています！

阪神支部理事会開催

平成二十六年八月二十四日午後十二時より、兵庫区塚本通り「旨い屋清童」において理事会を開催しました。

当日は八月下旬ということ、大変暑い日でありましたが、出席者十七名と沢山の方に参加頂きました。

今回の理事会は以下の三件の事項について検討し、決議するため招集されました。

一、第三回定時支部総会の開催の件

二、役員改選に際し、候補者の推薦を求められた場合の推薦者の決定及び常務理事二名の増員を総会に諮る件

三、第二回定時支部総会の会計報告の件

以上の三議案について慎重に審議した結果、それぞれ全員一致承認

可決されました。

第三回定時支部総会の開催要領は次の通りです。

開催日時 平成二十七年一月二十五日(日曜日)午後十二時より
開催場所 神戸市中央区「パレス神戸」

会議を無事終了後、懇親会に移り、本部よりお越し頂いた本條会長と花本支部長のご挨拶を頂き、参加者の自己紹介を交えながら、楽しい会食となりました。

皆さんの口について出るのは懐かしい高校生活、実業の美しい自然の中で育まれた少年時代の話でした。

「やっぱり同窓は良いな」と話が盛りあがる中、会を終了し、散会となりました。

阪神支部の皆さん、第三回定時支部総会に、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

昨年オープンしました「旨い屋清童」です。

気くばり、元気、感謝をモットーに来て良かったと思って頂けるお店作り、安くて美味しい気さくなごはん屋をコンセプトに、多くの皆さまに愛されるよう努力していきたいと思っています。

出店するに至り、魚屋で知識を共用させていただき、今では毎朝市場に行き良い魚を仕入れることができます。また、そのつながりから明石、淡路島の漁師から直送の便もできるようになりました。また、実業市からは「千年水」といわれる天然の水から作られる

米、こしひかりを使用し、毎回実業の田舎までその「千年水」をくみに行き、ごはんを炊いています。他にも野菜や酒なども取り扱っています。実業の良さをたくさんの人に知って頂くために努力しがんでいます。

ご予算に応じて料理等ご用意できますので、お気軽にお申し付けください。

旨い屋清童をよろしくお願いいたします。

第52回生 木村清童

旨い屋 清童

神戸市兵庫区塚本通3丁目3-20
電話078 (576) 1876



喜寿記念同窓会 開催記

第7回生 塚本哲朗

平成二十六年四月十四日(月)、
うららかな春の陽気のもと、姫路
商工会議所宴会場に山高第七回生
四十一名が集い、「喜寿記
念同窓会」を開催しまし
た。

北海道からと九州から
の参加者二名による乾杯
の発声を合図に、会は一
気に盛り上がりました。
「七十七歳なんのその」
久しぶりに再会できた懐
かしい友と肩をたたき合
い、杯を酌み交わし、歓
談の熱気が会場を埋め尽
くしました。

私たちは、これまで二
年ごとに京滋阪、神戸、
安富(姫路)、そして実業
と担当班の持ち回りで同
窓会を開催していますが、
今回の実業班から日帰り
方式に改めたこと、また、
参加者の足の便を考え姫

路市内で開催したことなどが好評
で、四十名を超える賑やかな会に
なりました。

また、記念すべきこの節目に「喜
寿記念文集」を発行し、同窓仲間
全員に配付しました。これにより、
もう一つの参加と連繋の場を作っ
たこともよかったと思っております。



24回生 還暦同窓会

第24回生 三谷恭三

(旧姓原田)

平成二十六年八月十日(日) 台
風十一号が赤穂に上陸し、この播
磨地方直撃との報道があるなか、
私たち二十四回生は勇敢にも「無
謀か？」卒業以来初めての全九ク
ラス合同の同窓会を山崎町生谷「伊
沢の里」で開催しました。

昭和二十八、二十九年生まれの
私たち全員が還暦を迎えた今年、
ぜひ一度同窓会をという声を受け
て山崎在住の有志で企画した同窓
会で、四〇〇名を超える同窓生の
うち所在の判明している者三四〇
名に連絡をし、そのうち当日参加
を含めて六十八名の参加申し込み
を受けました。残念ながら台風の影響
による交通事情等で、当日若
干のキャンセルはありましたが、
懐かしい顔を合わせて互いに旧交
を温めることができました。また、
九クラスの担任の先生方にも案内
をしました。そのうち三人の先
生方がすでに鬼籍に入られており、
四組の坂本昌靖先生お一人参加し
ていただくことができました。

山崎高等学校24回生同窓会



六十歳を迎えて第一線を引き第
二の人生を踏み出した者、今なお
現役でがんばっている者、子育て
を終えて悠々自適のお母さん方、
いろいろな仲間が久しぶりに顔を
合わせた思い出に残るひとときで
した。なお、今回ご協力いただいた
地元の世話人の皆さん、誠に
お疲れ様でした。そして大変ありが
とうございました。

拝啓、M先生

— 恩師から頂戴した手紙への返信より —

東京医科歯科大学教授

稲澤 譲治 (第27回生)

山崎高等学校

人彩



懐かしいお便りを頂戴し有り難うございました。

山崎高校を卒業して大学入学後の帰省時に一、二度、先生の下宿をお訪ねしたでしょうか。以来三十四年が経ちました。現在、私は東京医科歯科大学に勤務しており、その本務は研究と教育です。昭和五十七年に京都府立医科大学を卒業し五年間内科医を務めた後に研究者へと身を転じました。

私の高校時代を振り返りますと、M先生の現代国語、A先生の古典、K先生の漢文と充実した国語の授業を受けさせていただきました。小柄なK先生が陶淵明の漢詩「柴門鳥雀噪 歸客千里至」を浪々と吟じられる姿は今も鮮明に浮かびます。斎藤孝が「声に出して読みたい日本語」を上梓して話題になり

ましたが、早くにその教育を受けたいたわけです。

M先生の授業で私の記憶に残る幾つかを思い起こしてみます。まず、中原中也の詩「一つのメルヘン」です。私は入試に失敗して一浪しましたがその間、折に触れ中也の詩を心の休めとしておりました。大学合格の春、彼が幼少期を過ごした山口県湯田温泉を訪ねました。私が通う医大の近くには、旧制山口中学の入試に失敗し故郷を離れ立命館中学に在籍していた中也の下宿がそのままの家屋で残っていました。さらに、私が最初に赴任した国立福岡山病院は、かつて中也の父が軍医として勤務した福岡山連隊の陸軍病院を起源としており、因縁を感じずにはいられませんでした。

次に葛西善蔵の「子をつれて」の文章から抜粋した読解問題です。「場末の居酒屋で酒を飲む父の姿を路地裏で遊ぶ子が何度も覗きに來てはその姿を確かめてまた遊ぶ」という描写から、その子の気持ち、を問うものでした。「何時の間にか父が居なくなってしまうことの不安から何度とその姿を確かめた」が解答であったと覚えています。

また、飯田蛇笏の「をり取りてはらりと重きすすきかな」や正岡子規の「萩一斗糸瓜の水も間に合わず」の俳句の授業も印象深く、特に後者は、子規が晩年重い結核に伏していた庭先の情景を詠ったことの意味を語って下さいました。

M先生はまた太宰治の桜桃忌が三鷹・押林寺で営まれていたことも教えて下さいました。私は現在、三鷹近くに住むことから梅雨の頃になるとそれを思い出します。昨年には青森県金木村に太宰の生家斜陽館を訪ねました。数年前には、私の研究室で講師を務める小児科医のH君（ペンネーム・瀬川深）が第二十三回太宰治賞を受賞したのですが、これも幸せな縁と思っています。

作品と併せて作家の私生活や時代の背景にわたり丁寧に解説してくださるM先生をはじめA先生やK先生の国語の授業は毎回が楽しみです。そのことは、現在、学生を前に講義する立場にある私自身の姿勢にも息づくものと、感謝をしております。

どうぞご自愛第一のほどお祈りいたします。

敬具

拝啓、M先生

— 恩師から頂戴した手紙への返信より —

東京医科歯科大学教授

稲澤 譲治 (第27回生)

山崎高等学校

人彩



懐かしいお便りを頂戴し有り難うございました。

山崎高校を卒業して大学入学後の帰省時に一、二度、先生の下宿をお訪ねしたでしょうか。以来三十四年が経ちました。現在、私は東京医科歯科大学に勤務しており、その本務は研究と教育です。昭和五十七年に京都府立医科大学を卒業し五年間内科医を務めた後に研究者へと身を転じました。

私の高校時代を振り返りますと、M先生の現代国語、A先生の古典、K先生の漢文と充実した国語の授業を受けさせていただきました。小柄なK先生が陶淵明の漢詩「柴門鳥雀噪 歸客千里至」を浪々と吟じられる姿は今も鮮明に浮かびます。斎藤孝が「声に出して読みたい日本語」を上梓して話題になり

ましたが、早くにその教育を受けていたわけです。

M先生の授業で私の記憶に残る幾つかを思い起こしてみます。まず、中原中也の詩「一つのメルヘン」です。私は入試に失敗して一浪しましたがその間、折に触れ中也の詩を心の休めとしておりました。大学合格の春、彼が幼少期を過ごした山口県湯田温泉を訪ねました。私が通う医大の近くには、旧制山口中学の入試に失敗し故郷を離れ立命館中学に在籍していた中也の下宿がそのままの家屋で残っていました。さらに、私が最初に赴任した国立福岡山病院は、かつて中也の父が軍医として勤務した福岡山連隊の陸軍病院を起源としており、因縁を感じずにはいられませんでした。

次に葛西善蔵の「子をつれて」の文章から抜粋した読解問題です。「場末の居酒屋で酒を飲む父の姿を路地裏で遊ぶ子が何度も覗きに來てはその姿を確かめてまた遊ぶ」という描写から、その子の気持ち、父が居なくなってしまうことの不安から何度とその姿を確かめた」が解答であったと覚えています。

また、飯田蛇笏の「をり取りではらりと重きすきかな」や正岡子規の「痰一斗糸瓜の水も間に合わず」の俳句の授業も印象深く、特に後者は、子規が晩年重い結核に伏していた庭先の情景を詠ったことの意味を語って下さいました。

M先生はまた太宰治の桜桃忌が三鷹・押林寺で営まれていたことも教えて下さいました。私は現在、三鷹近くに住むことから梅雨の頃になるとそれを思い出します。昨年には青森県金木村に太宰の生家斜陽館を訪ねました。数年前には、私の研究室で講師を務める小児科医のH君（ペンネーム・瀬川深）が第二十三回太宰治賞を受賞したのですが、これも幸せな縁と思っています。

作品と併せて作家の私生活や時代の背景にわたり丁寧に解説してくださるM先生をはじめA先生やK先生の国語の授業は毎回が楽しみでした。そのことは、現在、学生を前に講義する立場にある私自身の姿勢にも息づくものと、感謝をしております。

どうぞご自愛專一のほどお祈りいたします。

敬具

がんばってます
新・社会人

卒業と就職、 思い出と決意!

島根森林管理署

第66回生 西川 彰

山崎高校を卒業し、国家公務員として島根森林管理署に勤めてから四ヶ月ほど過ぎました。日々仕事に追われる毎日ですが、とても充実していて月日が経つのがとても早く感じられます。

私は、山崎高校の森林環境科学科で、たくさんの友達や思い出をつくることができました。私がどんなに辛い時や、悩んでいる時でも、いつでもそばで一緒に悩んでくれる友達、何か困った時は協力

して助けてくれる友達など、そういった優しい友達がたくさんできました。また、放課後みんなで練習し頑張った文化発表会、北海道に行きスキーをして楽しんだ修学旅行、普段の何気ない日常生活など楽しかった思い出は数えきれません。その中でも一番印象に残っているのは演習林実習です。四泊五日、山の中にある宿舎に泊まり、毎日実習や勉強をしてみんな同じ場所で寝る集団生活。当初は逃げ出したい気持ちでいっぱいでしたが、今思うとこの経験は普段なかなかできない経験で、仕事をしていく上で大切な精神力や体力がついたと思います。

山崎高校に入学してから三年間を思い返すと、楽しい思い出や嬉しい思い出、時には辛い思い出があります。とても充実した高校生活をおくることが出来ました。山崎高校で私は大きく成長し、自分に自信が持てるようになりました。全ての出会いと経験に感謝しています。

社会人一年目、まだまだ慣れない日々で仕事もしんどいと思ったことが何度かあります。

国家公務員林業職の新規採用は

近畿中国で十人採用されており、賢い人たちが多くので、日々差が広がっているのではないかと考えると正直焦ってしまいます。しかし、焦りすぎないよう山崎高校でやってきたように地道にコツコツ努力しながら少しずつ進めていこうと思っています。

先輩に向けてのアドバイスは「大きな声であいさつ」と「高校生活を楽しむ」の二つです。私は高校卒業後、社会人として働いていますが、まず職場で朝一番にあいさつをします。声が小さいと周りの人たちに良い印象を持たれないので、山崎高校に在学している内に大きな声であいさつをして練習をした方がいいです。「高校生活を楽しむ」は、高校を卒業するとみんなそれぞれの場所に就職したり進学したりして、友達と会う機会が少なくなりますが、勉強することにももちろん大切ですが、友達と一緒に遊び楽しい高校生活を送ることも大切だと思います。

私は山崎高校に入学し、卒業できたことを誇りに思います。先輩の皆さんも山崎高校の生徒であることに誇りを持ち、充実した高校生活をおくってください。

がんばってます
大学生

家族に感謝

新見公立大(看護学科)

第66回生 田 富 里 佳

山崎高校を卒業してから五ヶ月が経とうとしてしています。大学に入学して以来、あわただしく過ぎていく日々を必死に追いかけているうちに、夏休みに入りました。あつという間の期間でしたが、とても内容の濃い四ヶ月でした。

大学生活では、環境が変わって新しい出会いもあり、人との交流の輪が大きく広がりました。他府県から同じ夢を持って集まった仲間達と共に日々の生活を楽しんで

がんばってます
新・社会人

卒業と就職、 思い出と決意!

島根森林管理署

第66回生 西川 彰

して助けてくれる友達など、そういった優しい友達がたくさんできました。また、放課後みんなで練習し頑張った文化発表会、北海道に行きスキーをして楽しんだ修学旅行、普段の何気ない日常生活など楽しかった思い出は数えきれません。その中でも一番印象に残っているのは演習林実習です。四泊五日、山の中にある宿舎に泊まり、毎日実習や勉強をしてみんな同じ場所です。寝る集団生活。当初は逃げ出したい気持ちでいっぱいでしたが、今思うとこの経験は普段なかなかできない経験で、仕事をしていく上で大切な精神力や体力がついたと思います。

山崎高校に入学してから三年間を思い返すと、楽しい思い出や嬉しい思い出、時には辛い思い出があります。とても充実した高校生活をおくることが出来ました。山崎高校で私は大きく成長し、自分に自信が持てるようになりました。全ての出会いと経験に感謝しています。

社会人一年目、まだまだ慣れない日々で仕事もしんどいと思ったことが何度かあります。

国家公務員林業職の新規採用は

近畿中国で十人採用されており、賢い人たちが多くので、日々差が広がっているのではないかと考えたと正直焦ってしまいました。しかし、焦りすぎないよう山崎高校でやってきたように地道にコツコツ努力しながら少しずつ進めていこうと思っています。

後輩に向けてのアドバイスは、「大きな声であいさつ」と「高校生活を楽しむ」の二つです。私は高校卒業後、社会人として働いていますが、まず職場で朝一番にあいさつをします。声が小さいと周りの人たちに良い印象を持たれないので、山崎高校に在学している内に大きな声であいさつをして練習をした方がいいです。「高校生活を楽しむ」は、高校を卒業するとみんなそれぞれ別の場所に就職したり進学したりして、友達と会う機会が少なくなります。勉強することももちろん大切ですが、友達と一緒に遊び楽しい高校生活を送ることも大切だと思います。

私は山崎高校に入学し、卒業で来たことを誇りに思います。後輩の皆さんも山崎高校の生徒であることに誇りを持ち、充実した高校生活をおくってください。

がんばってます
大学生

家族に感謝

新見公立大(看護学科)

第66回生 田 富里 佳

山崎高校を卒業してから五ヶ月が経とうとしてしています。大学に入学して以来、あわただしく過ぎていく日々を必死に追いかけているうちに、夏休みに入りました。あつという間の期間でしたが、とても内容の濃い四ヶ月でした。

大学生活では、環境が変わって新しい出会いもあり、人との交流の輪が大きく広がりました。他府県から同じ夢を持って集まった仲間達と共に日々の生活を楽しくして

山崎高校を卒業し、国家公務員として島根森林管理署に勤めてから四ヶ月ほど過ぎました。日々仕事に追われる毎日ですが、とても充実していて月日が経つのがとても早く感じられます。

私は、山崎高校の森林環境科学科で、たくさんの友達や思い出をつくることができました。私がどんなに辛い時や、悩んでいる時でも、いつでもそばで一緒に悩んでくれる友達、何か困った時は協力

山崎高校同窓会阪神支部の第3回総会について(ご案内)

山崎高校同窓生の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。
平成25年1月、多くの同窓生の皆様にご参加いただき、「山崎高校同窓会阪神支部」が設立されました。

これを機会に、今後益々、同窓生の交流の輪を広げていければ幸いかと考えております。
また、故郷を離れ、不安を抱いて就職した新社会人の激励や相談の場にもなればとも考えております。

同窓生の皆様方におかれましては、当支部活動につきまして、格別のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、阪神支部第3回総会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内いたします。
お忙しいとは存じますが、在住・在勤の地域には特にこだわりませんので、お知り合いの同窓生の方をお誘いの上、多数ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。特に、平成26年4月新社会人の方の参加を心よりお待ちしております。

なお、会場の準備がございますので、恐れ入りますが、ご出席いただける方については、下記連絡先までご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

日 時 平成27年1月25日(日) 12時～14時
場 所 パレス神戸(最寄駅:地下鉄「県庁前駅」、
JR・阪神「元町駅」)
神戸市中央区下山手通5-1-16
TEL:078-371-7800

会 費 5,000円(飲食代)
※但し、新社会人は1,000円



※ご出席いただける方は、12月31日までに下記にご連絡願います。

連 絡 先 神戸市垂水区西舞子6-3-70-603
森下二三哉あて
メールアドレス sp3x8a99@helen.ocn.ne.jp
電話番号 078-783-8945
連絡方法 「メール」若しくは「はがき」
連絡内容 お名前、卒業年次又は卒回生、住所、電話番号

山崎高校同窓会阪神支部

支 部 長 花 本 秀 生(S39卒)
副支部長 鱈 尻 昌 弘(S40卒)
小 林 俊 明(S41卒)
事 務 局 中 野 景 介(S44卒)
岡 田 泰 介(S44卒)
衣 笠 達 也(S53卒)
森下二三哉(S56卒)

NOTICE!

同窓会掲示板

●同窓会の告知にご利用ください

新聞発行は毎年1回秋頃を予定しています。同窓会の予定が決まれば、9月末までに事務局までご連絡願います。

16回生 古希同窓会のお知らせ

●日 時 平成27年4月26日(日) 12時～
●場 所 ホテル日航姫路
●連絡先 吉 岡 政 純 TEL.080-5345-8771
有 尾 初 美 TEL.090-8483-8351

全国各地に広がっています、 同窓生の輪

今回は志賀高原でスキーのインストラクターとして、スキーの楽しさはもちろん自然の素晴らしさを全国に発信されている菅谷さん、実業市観光大使として全国で活躍されている瀬戸さんを紹介いたします。

凜としてないですけど

第28回生 菅谷比呂志

オリオン座が東の空に見え始める頃、冬が来るのが嬉しくて仕方がなかった部活の帰り道。大好きだったのは学校の友達。野山を走り回るスキー部の部活動。白い画用紙に色を描く自由な時間。大嫌いなのが困ったことに勉強と授業。こんな僕の仕事場は長野県の北部。野尻湖、妙高、黒姫を中心とする三国山脈の南西部、志賀高原のスキー場で学校長としてスキー学校を運営している。浅間、本白根、草津など、今なお活発な火山活動地域で温泉も多い。志賀高原の麓が湯田中温泉で、野生の猿が入る地獄谷が有名だ。

標高約二千米の冬山での仕事が今年で三十四年目。毎年初冬の雪山に向かう車の中で思うことがある。子供の頃に連れて行かれた動物園。大きな肉食の動物たちが、僕を「うまそうだ」と思っているに違いない恐怖心。それと同じ僕のほ乳類としての本能が雪山に恐怖する。そんな時、子供の頃に見つけた自然の中での遊び方が心に浮かぶ。たゆとう雲。川のきらきら。移りゆく山の緑。僕が絵の具の色になり白い画用紙の上を遊び回る。僕の恐怖心が笑顔に変わる。

スキー学校には九州、関西、関東からの中学、高校と多くの学校にも来ていただいている。ほとんどの生徒がスキーは初めて。教えたいたのはそれぞれのレベルで雪の上を自由自在に滑走できる安全なスキー技術。伝えたいのは慇懃として立ちはだかる厳冬の雪山の自然への謙虚さ。そして描いてゆくのが楽しくて仕方がなかったつたない絵のように、純朴で素直な心が一所懸命に楽しさに変えてくれること。



氷点下二十度にもなる志賀高原の冬。多くの知識と経験を基に、いつも安全で正確な判断を迫られる。五感を使い、時には六感を使い自然に敬意を払いながら雪山と向き合う。

街で桜の花が散る頃、オリオン座は西に傾き始める。体も精神も疲労困憊となり、僕の仕事はシーズンの終わりを迎える。経営者としては連戦連敗。「こんなに大変な仕事は今年で辞めてしまおう」と弱音を吐く。山高の教室から授業も聞かずに窓の外をぼんやり眺める僕が浮かぶ。山崎の自然は「今年も頑張っておいで」そう言ってくれる。それは友であり、お世話になった恩師の声だと思ふ。まったくこんな僕は、きっと今年も凜とした雪山の中で仕事をしている。「今年は雪山に何を描いて遊ばるか」

志賀高原

上信越国立公園の中心に位置し、2000m級の山々に囲まれた高原は、ウィンターシーズンはもちろん大小70あまりの湖沼が点在しトレッキングステージとしても有名です。特に「大沼池」は菅谷さんもおおすすめの絶景ポイント。そのほかにも、湯田中渋温泉郷など見どころがいっぱいです。

菅谷さんのスクールです

若林プロスキースクール(ホテルの瀬) TEL(0269)23-2345

*志賀高原観光協会さんのご協力をいただきました、ありがとうございました。

志賀高原



「ふりむけば故郷」

実業市観光大使

瀬戸直人(猶原哲生)

第27回生



昭和三十三年二月二十二日、千種町下河野で産声をあげました。子どもの頃は川に潜って魚を追いか、山では木のつるでターザンごっこ。千種の大自然が遊び場でした。中学校ではバレー部で頑張り、地区大会で優勝しました。山崎高校では剣道部に所属し、西播大会ベスト4まで進みました。また二年間黎明寮で過ごし、そこでの楽しい日々は(詳しく語れないのが残念ですが)私の青春の一ページです。

私の両親は地元の小中学校で教鞭を取っていました。親族にも教職に携わる者が多く、今思うと両親は私にも教師の道に進むことを期待していたようです。ところが

その後私は、関西学院大学法学部に進みましたが、親に生活費は自分で稼ぐと大見得を切ったおかげでアルバイトと学業の両立に必死のパツパツの大学四年間でした。

卒業を間近に帰省した時、親の驚きと嘆きは覚悟の上で「東京に行って芸能界に入る」と思い切つて告げました。親は何も言わずに私の親不孝を許してくれました。

上京して、運よく映画製作の仕事に携わることができ、その傍ら俳優という自分の夢の実現にも励んできました。そして十三年前歌手の道を勧められ、三年間のレッスンの後、「花月川」でデビューを果たしました。

順風満帆には程遠い人生でしたが、苦しい時心が折れそうなき、いつも振り返るのはふるさとでした。そして、「夢は見るものではなく叶えるもの」私がずっと大切にしていた座右の銘でした。

今私の両親は実業の老人ホームでゆつくりと過ごしています。

今回のニューシングル、「ふりむけば故郷」は私が歌手になつてからずっと大切に歌ってきた曲で、ふるさと実業の曲です。

今年六月二日に実業市観光大使を委嘱されました。この光栄に恥じぬよう、ふるさと実業のため、微力ながら頑張りたいと思います。今後同窓の皆様とお会いする機

回生だより



〜元気ですごしています〜

林科に学んで

第4回生（林業科第1期生）

宗平 長城

林業学舎 六粟 菅
山緑水清 桃源郷

戦後間もない昭和二十四年県下唯一の林業科が創設され「迷わず志望」今、八十路を生き抜く年を迎え林科に学んだ三年間が私の生涯の基礎になっていることを、しみじみ感じております。

一期生であるが故に後輩の力強い支援のもと、創立三十周年、五十周年の記念事業が総力をあげて実施できたこと林業科卒業生の素晴らしい力をわすれることが出来

ません。卒業して六十余年いよいよ高齢を迎え次期記念事業を後輩に託して八十、百周年と益々のご発展をご祈念申し上げます。

同窓生へ送る言葉

第5回生 松井 甫

この度、同窓会便りの原稿依頼を受けまして、私の思いを少ししただけだとは思いますが、私たちが育った時代は終戦間もないこともあり公立女学校跡の校舎で勉学することになりました。後に山崎町役場が建設され行政の中心地となりました。私の青春の思い出が残

る地でもありました。それから年月を重ね、早いもので私も「傘寿」を迎えました。同じ学び舎で学んだ友も一人亡くなり、二人亡くなり本当にさびしい限りです。同期の皆さん、余生を悔いなく生きようではありませんか。

近況

第8回生 秋田司朗太

前回八回生の同窓会は平成十八年、それから八年たつて喜寿を迎え、記念の同窓会を計画したところ、現在、物故者が三十名、病氣欠席が二十九名、転居先不明が十六名、当時普通科は三クラスで計百五十名、七十五名の欠席がはつきりしている。残り七十五名、何人が出席してくれるか心もとない限りです。遠方だったり、夫や妻の具合が悪かったり所用のある者もあるだろう。まあ集まった人数で、生かされて生きて、七十七年、今の健康であることに感謝し、旧交を温め、互いの喜寿を喜び合いたいと願っています。

生きる意欲

第10回生 前田 眞正

小生も七十四歳となり、いよいよ定年後の次のステージを歩む身であり、大阪産業大学は名誉教授です。昨年は大学祭にも行きました。日本国学会と日本設計工学会は名誉会員ですので、学会の諸行事に参加できますので、時折参加しています。そして、①詩吟②読書③落語鑑賞④映画鑑賞⑤散歩⑥小旅行などを中心に生きる意欲を失わないうように心掛け、家にとじこもりがちにならないようにして、創意工夫して頑張りたいと思っております。恩師や同級生の皆さん、頑張ろう！

十一回生 喜寿の同窓会

第11回生 中津和也

昭和三十四年に卒業して五十五年が過ぎ七十三、七十四歳になり三年後には喜寿を迎える高齢者になりました。しかしまだ、現役で頑張っている者、地域社会に貢献

している者、趣味を生かして毎日を楽しんでいる者等様々です。毎日を健康で有意義に過ごしたいものです。

さて、十月に第六回目の同窓会が開催されました。当初予定では本年度で最後となっていました。が、世話役打ち合わせの席上、三年後の嘉寿に最後の同窓会を盛大にやるうではないかとの声が上がりました。検討することになりました。

皆様の貴重なご意見をお聞かせいただき、十一回生最後の意義ある同窓会になるよう頑張ろうではありませんか。

故郷

第15回生 吉野 二郎

私は大阪で生まれ、疎開と云う形で0歳の時に母親の実家安富町に生まれました。それから高校卒業まで十八年間お世話になり、現在は神戸に住んでいます。当時、家は農家ではありませんでしたが、田舎育ちと云うせいか野菜作りに興味があり、公務員生活を終え、定年を機に近くの貸農園で野菜作り

を始めました。今も故郷安富町の風景を思い出しながら楽しく野菜作りに励んでおります。

そして、近頃では、年に何回かのそちらでのゴルフ帰り、自動車道から垣間見る山高を眺める度に、夢と不安が多い青春時代にタイムスリップし、楽しかった高校時代の思い出に浸っています。

いずれにしても、故郷とは本当に有難いものです。

「山高シークレットスポット」

第16回生 生田 安弘

神戸での教師生活を終えて念願のふるさと帰還、山崎の地で心機一転、職も一転、喫茶店のマスターになって丸二年になる。はやらぬ店に律儀に足を運んでくれるのは地元の高級生や山高OB。気の置けない仲間同士で高校時代の話もよく出る。その中の秘話といつてもいい面白い話をここで紹介したい。彼らには事後承諾で。

話の舞台は校舎の裏にあった池だが、私も含め、健全な生徒には

知る由もない場所、シークレットスポットである。一度現場をと過日思い立って母校を訪ね、問題の池を探索してみた。校舎の西側裏手から伸びる細い坂道を上りつめた山裾にその池はあった。初夏の候で、紺碧の水を湛えた池は、木々の深い緑に包まれ、ひっそりと佇んでいた。おそらくは往時を留めるその姿を前に若草の生える土手で暫し感慨に耽った。

この山高シークレットスポットで繰り広げられた山高シークレットストーリーは次のようなものだ。奇をてらう訳ではないが字数節約もあり、拙い短歌を交えての話の運び、ご容赦願いたい。

生意気と呼び出されしは池の土手 助っ人駆けつけ乱闘騒ぎに

当時先輩が後輩を徹しく指導するのは普通のこと。大抵は後輩の「以後気を付けます」のひと言で落着いたが、話を聞きつけてここぞと加勢に参じる元氣者や調子者がいて、時に大事になることもあった。

生意気な教師これあり卒業の式終え皆で池に呼び出す

生意気な教師、というと変だ

が、新卒教師と高三生徒では歳の差はほんの四、五歳、そんな若僧教師にあまりに偉そうにされるとつい、生徒の気持ちも分からぬではない。また呼び出されて臆せず一人出向き、鼻血のひとつも出しながら一件胸に収めた教師も立派だ。

この池、そういう荒っぽいことの舞台になっただけではない。当時流行った青春学園映画を真似てこんなたわいない悪戯も文を受け定刻池に駆けつくも待ち人來たらず誰の悪戯

ロマンチストな私としては、こんないいところがあったのなら、こんなこともしてみたいかと今にして思うのである。

授業抜け池の土手なる草に臥て白き雲行く空見たかりし

月日の経つのは早いもの！ 卒業五十周年が目の前

第18回生 三渡 圭介

昭和四十一年三月に私共山崎本校十八回生四三〇名は卒業しまし

た。数えて四十八年と半年。あと一年半にて五十周年を迎えます。「光陰矢のごとし」本当に早いものです。ほとんどの同級生は祖父さん祖母さんになり、それぞれの仕事をリタイヤし、残された時間の使い方に戸惑いを感じておられると思います。この度、同窓会名簿の更新が十三年ぶりに行われます。私たちの卒業五十周年に役立つことと存じますので新しい名簿にて声を掛け合い、皆でお祝いをしたとを考えております。

如実知自心

第19回生 久保光生

定年退職をして、スローな時間の流れにも慣れてきたこの頃。同窓会便りの原稿依頼がきた。さて、何を書こうかと座ってはみたものの高校時代行動的な生徒ではなかったが、活字にするほどの思い出が浮かんでこない。今にして思えば、せつかくの青春時代を残念なことをしたと思う。ならば、残りの人生をと思気込んでみても

も、生まれ持った不精な性格はそう簡単には変わらないらしい。今年から、夫婦で四国遍路八十カ所霊場巡りを始めた。何かに区切りを付けたいというわけではないので、結願するまで何年かかるか分からない。「同行二人」を昔に自分の歩幅で、まず一歩前に踏み出していくことに務めている。

この年になって...

第21回生 山國和志

二年前にやむなく会社をたたんで、今年四月に一念奮起して、大阪市立大学大学院創造都市研究科にてアジア・ビジネスを勉強しています。社会人、留学生が主で若い人と机を並べています。社会人は私のような年の人もいれば、現役の会社員の方が主です。7割が留学生でクラスのはほとんどは中国出身で後は韓国、タイの出身です。アジアチックな雰囲気の中、若い学生と久しぶりに真剣に勉強をしています(笑)これも高校、大学と余り勉強しなかった結果かしら

れません。学ぶに遅きことはないと思うこの頃です。

まだまだと思いながら...

第22回生 秋久澄子

最近、親の遺品の整理に多忙を極めている友人がいる。他人事ではない。夫の両親の遺物の整理がまだ半分も済んでいない。いつも片付けの手伝いをしてくれていた息子に、私と夫にやがて訪れる最期迄には整理しておいてと釘を刺された。子供たちに同じ思いをさせてはならないと痛切に思うので、先ずはもう物を増やさないことから始め、もし増やしたら、その倍以上の物を処分することにした。さらに整理する為の時間はそんなに長くは残っていないのだと心がけ、そのことを契機にそろそろ人生の締めくくりを充実したものへとする為に、余分なものは削ぎ落としつつ、学ぶことは幾つになっても忘れず、残された時間を有意義に過ごすように努めたいと思う。

現況報告

第25回生 秦 賢作

只々健康だけが取り柄の私が、気付けば眼鏡の世話になり血圧の薬に頼り、頭部が気になり始める。自分の心構え以上に早く還暦を迎える歳になってしまった。

本校を卒業して四十二年、一息も休まず休まず仕事に邁進して来たが、今思えばこれも有難かつたのだろうか。

商店街「山高街の駅」を横目に通りながら、ハツラツと活動する生徒たちの姿に、ふと遠い昔を思い出す。

皆どうしているのだろうか、一度会って語り合いたいものだ。

ほっとする毎日

第29回生 進藤政則

高校入学当時、休憩時間になるといつも参考書を読んでいる子、学生服の襟幅が太い子、セーラー服のスカートの長い子、初めて

見る光景もありましたが今思えば懐かしいの一言です。

在学時の大きな出来事としては昭和四十九年は巨人軍長嶋茂雄氏の引退、昭和五十一年には台風による一宮町下三方の山津波の災害がありました。

卒業してから早や三十七年定年退職まで五年を切りました。今の在校生とは、毎朝二、三人とすれ違いますが「おはようございます」との挨拶のやり取りでなぜかほつとする毎日です。

親子で：

第39回生 大砂 正則

山崎高校を卒業して二十八年が過ぎようとしています。高校時代の記憶といえば、毎日が部活動に明け暮れた三年間であつたように思います。

その三年間でたくさんの仲間と出会い、その仲間たちと卒業後も定期的に会い、酒を酌み交わし、毎年秋には同級生数人で、奈良や京都へ高校時代の懐かしい思い出

を語りながら修学旅行気分で行っております。年を重ねるにつれ盛り上がり、毎年楽しみにしております。

今、我が息子も母校にお世話になり、競技は違うものの部活動中心の毎日を送っています。残り少ない高校生活で、人生の友と呼べるたくさんの方に出会って欲しいものです。

運動を続けることの 大切さを思う日々

第43回生 松本 光雄

私は現在、地元で、老人保健施設に理学療法士として勤務しています。主に、高齢者のリハビリテーション、運動療法を行い、心身の健康づくりに携わっています。

日々、ここから先の健康づくりに、過度にならない程度の適度な運動を続けることが大切だと実感しています。

今年から長女が山崎高校でお世話になっていきます。彼女が中学生

の時には運動部の応援に度々足を運びました。感動をもらい、素晴らしい思い出となりました。高校でも学業はもちろん大切ですが、今しかできない部活動にしっかりと取り組んで、心身の成長を遂げていくことを願います。

私自身は今、からの衰えを自覚しながら、元気な高校時代を振り返ります。そして、高校時代にしかできない部活動を通じておけばよかったと思っています。

近況

第60回生 篠田 夕貴
(旧姓 山本)

山崎高校を卒業して早六年がたちました。私は今、姫路市城乾小学校で学校事務職員として勤務しています。忙しい毎日ですが、学校の子供たちや、職場の先生と供に充実した日々を過ごしています。

今でも休日、山崎高校時代の友達と出掛けたり、ご飯を食べに行ったりしています。その時間は、仕事を忘れ、昔に戻ったように楽

しめ、私にとってかけがえのないものです。

これからも、山崎高校で学んだ事や、人間関係を大事にして過ごしていきたいです。

現況報告

第62回生 谷口 誓明

山崎高等学校を卒業して四年が経ちます。高校卒業後は、島根県立大学に進学しました。大学では、総合政策学部所属し、政治や経済、法律など様々な分野を四年間学習しました。在学中は地域のことにについて学習することが多くあり、卒業後は地元に戻ろうと考えていました。就職活動は主に播磨地方で行いました。そして現在は山崎町の企業で四月から働いています。山崎町に帰ってきているので、母校を訪ねてみたいと思っています。

歴史と実績ある部活動の数々。
毎号、運動部&文化部より1クラブずつ
ご紹介いたします。



活動の紹介

Club Activity

部活動紹介「体育部」

剣道部

2年生 國重 知希

僕たち剣道部は、昨年から部員数が増え稽古にも更に活気が出て、仲間と心をついにし、日々修練しています。

「剣道とは、剣の理法の修練による人間形成の道である」と言われます。勝ち負けの結果ではなく、過程で得たものが大事だと言われます。

でも、やはり勝ちたい、負けたくないというのが本音で、まだまだ未熟者ですが、努力した分だけ必ず結果もついてくると信じています。だから、僕たちは諦めず人一倍、頑張って鍛錬し続けています。

しかし時々挫けそうになることがあります。そんな時は、部の仲間同士で声を掛けて支え合い、励まし合って気持ちを高めています。この仲間を思いやる気持ちは裏切らない気持ちで、山高剣道部が大切になっているところです。仲間がいるからこそ、こんな良い環境で僕たちの大好きな剣道が出来ていると思います。たまに、羽目を外しすぎて先生に怒られることもあります。ですが、楽しむことで団結力が強くなることもあります。

剣道部は主に団体戦です。その高めた団結力を活かし、目の前にある一つ一つの試合を先鋒戦から大将戦まで、どこも気を抜くことなく、今までの練習を思い出しながら、部員一丸となって戦っていきます。勝負がついて結果がどちらであつても、技術面だけでなく精神面も含め自ら反省し、次へ活かすよう努力しています。

まだ、新チームになって3カ月ほどしか経っていませんが、良いチームを作っていきたいと思えます。部員、マネージャーみんなの心一つにして頑張っていけます。中島先生、上本先生のご指導のもと、近畿大会を第一目標として、

練習に励んでいきます。
これからの山高剣道部の活躍を期待してください。
応援をよろしくお願いします。



部活動紹介「文化部」

演劇部

福壽 十貴

山崎高校演劇部は現在、三年生二名、二年生七名、一年生二名の計十一名で活動しています。十一名！五年前に私が山崎高校に着任した時は、部員わずか一名の演劇同好会だったことを思い返すと少し誇らしい気持ちになる数字です。

三年前に部員数が規定の六名を超え、演劇同好会から演劇部へと昇格するに伴い校外でも他校と同じ舞台で劇を発表する機会を頂けるようになりました。一昨年には文化発表会でも全校生徒の前で劇を発表させていただくようになりました。



文化発表会直前の様子

り、観客の方々が共感、感動できる作品をということで、「家族愛」をテーマにした新しいジャンルにも挑戦しました。登場人物の感情をいかに表現するかについて何度も意見をすり合わせていくなかで、部員同士のコミュニケーションも活発になり、とてもいい雰囲気です。本番を迎えることができました。本番では観客の笑い声やどよめきなどの反応にこたえるべく、練習以上のものをお見せすることができました。

演劇部としては、十一月初めに県予選として行われる西播支部大会と三月末に行われるフェスティバルの二つの大会に参加させていただきます。現在の山崎高校の演劇部は部員の男女のバランスがとれてよいので、今年度の支部大会でぜひ感動的なラブストーリーに挑戦したいという思いもあり、その流れを作るべくフェスティバルでは「シリウス〜光年の恋〜」というファンタジックな作品に取り組みました。この作品に取り組む中で演者の表現力を磨くだけでなく、作品の持つ世界観を作り上げていくために効果音や特殊照明（星球）など演出の部分でも工夫を凝らした結果、総合的に好評を得ることができました。



フェスティバル13のパンフレット

昨年度からは夏休みに姫路フォールズのフォールズホールで行われるライブ形式のコントの大



ショーゲキ・バトルの表彰式の様子

会「ショーゲキ・バトル」にも参加しています。今年度は二人一組で三チームが出場し、うち一チーム（山高HY）が四位に入賞を果たしました。今年度初の取り組みとして実施した、夏季合宿で培ったチーム力の成果ではと思っています。

現在は十一月に行われる支部大会に向けて日々練習に励んでいます。今回取り組むのは戦時中の悲



夏季合宿での様子

恋を描いた「十六日目の月」という純愛ラブストーリーです。初めての時代物！初めての関西弁での劇！初めての太鼓かきなセツト！個性豊かなメンバーが集まっているため、意見がぶつかりあうことも多いですが、演劇という共同作業をおして、新しいことに挑戦することを恐れず、それぞれの個性を生かし、一緒に成長できるならこんなに素晴らしいことはないのではなからいと思います。山高演劇部の快進撃はまだこれからです。温かい目で見守り、応援していただけるとありがたいです。

男子バレー部 近畿大会 出場

近畿大会に出場して

第67回生バレーボール部キャプテン

森嶋 大地

昨年の夏、私たち六十七回生バレーボール部員は、引退される先輩方から部を引き継ぎました。私たちは、最初にミーティングを行い、「近畿大会出場」というチーム目標を決めました。そして、私は、キャプテンに任命され、チームを引っ張っていくことになりました。

私たちの同級生は四人しかいなかったため、どうしても下級生の力を借りなければチームが成り立ちませんでした。そのうえチームの構成上、エースとセッターという重要ポジションを下級生に任せることになりました。最初は、一人ひとりが、技術的にも精神的にも未熟であったため、チームがなかなかまとまらず大変苦労しまし

た。しかし、日々の生活や練習を重ねていくことで、チームワークが芽生え、部員が心を一つにして戦えるようになりました。その結果、今年の県総体では、ベスト16に入ることができ、目標である近畿大会に出場することができました。

近畿大会初戦は、大阪の旭高校と対戦しました。この試合では、自分達の力をしっかりと発揮することができ、快勝することができました。二回戦は奈良県の優勝校である天理高校と対戦しました。どのセットも接戦で、自分達としては健闘しましたが、惜敗しました。

結果は二回戦敗退でしたが、私たちとしては力を出し切ったので悔いはありません。

この一年、最初はチームを引っ張っていくことができたか心配でしたが、一人一人が高い意識を持って行動し、私に協力してくれたので、キャプテンを務めることができました。近畿大会にも出場することができました。ここまで私に協力してくれ、共に戦い続けてきたチームメイトに感謝したいです。また、こうしてバレーボールが続けてこ

られたのも、先生方の熱心な指導や、陰ながら支えてくれた家族、そして応援して下さったOJや地域の方々のお陰であると感謝しています。

ここまでバレーボールを続けてこられたことに感謝をし、山崎高校バレーボール部で戦えたことを誇りに思い、これからの人生に活かしていきたいと思えます。また、後輩たちには、更に高い目標に向かって日々の練習に取り組んでいてもらいたいと思います。



平成25年度 卒業生の進路状況

国公立大学

鳥取大学	3
鳥根大学	1
岡山大学	1
鹿児島大学	1
兵庫県立大学	3
新見公立大学	1
山口県立大学	1
下関市立大学	2
	13

私立大学

関西大学	1
関西学院大学	1
京都産業大学	3
近畿大学	1
甲南大学	1
龍谷大学	3
関西福祉大学	9
近大姫路大学	1
甲南女子大学	1
神戸医療福祉大学	4
神戸学院大学	11
神戸芸術工科大学	1
神戸女子大学	4
姫路獨協大学	9
兵庫大学	3
流通科学大学	2
神戸親和女子大学	1
神戸常盤大学	3
同志社女子大学	1
京都橘大学	1
京都外国語大学	1
京都学園大学	2
藍野大学	1
大阪大谷大学	2
大阪経済大学	2
大阪経済法科大学	1
大阪工業大学	3
大阪産業大学	3
大阪総合保育大学	1
大阪電気通信大学	1
摂南大学	2
千里金蘭大学	1
太成学院大学	1
梅花女子大学	1
桃山学院大学	2
関西外国語大学	1

関西看護医療大学	1
高野山大学	1
奈良大学	1
岡山商科大学	1
岡山理科大学	7
川崎医療福祉大学	3
環太平洋大学	1
吉備国際大学	2
食教芸術科学大学	1
広島工業大学	3
福山大学	1
福山平成大学	1
了徳寺大学	1
中部大学	1
四国大学	1
九州共立大学	1
	113

公立短期大学

大分県立芸術文化短期大学	1
倉敷市立短期大学	1
新見公立短期大学	2
	4

私立短期大学

大阪芸術大学短期大学部	1
大阪成蹊短期大学	1
関西外国語大学短期大学部	2
関西学院聖和短期大学	1
神戸女子短期大学	2
神戸常盤大学短期大学部	1
鳥取短期大学	1
姫路日ノ本短期大学	1
兵庫大学短期大学部	3
武庫川女子大学短期大学部	2
	15

看護医療系専門学校

姫路医療センター付属看護学校	2
岡山県立岡山看護専門学校	1
兵庫県立柏原看護専門学校	1
姫路市医師会看護専門学校	3
西神看護専門学校	1
はくほう会医療看護専門学校	1
聖正高等看護福祉専門学校	1
ソワニエ看護専門学校	3
玉野総合医療専門学校	1

ハーベスト医療福祉専門学校	7
姫路歯科衛生専門学校	3
西はりま医療専門学校	2
神戸ハビリテーション福祉専門学校	1
神戸総合医療専門学校	1
関西総合リハビリテーション専門学校	1
日本医療学院専門学校	1
日本歯科学院専門学校	1
姫路看護福祉専門学校	1
大阪医療技術専門学校	1
大阪医療福祉専門学校大阪	1
	34

その他の専門学校

上田安子服飾専門学校	1
大阪ウェディング&ブライダル専門学校	1
大阪総合デザイン専門学校	1
大阪ダンス&アクターズ専門学校	1
大手前栄養専門学校	1
大原簿記専門学校神戸校	2
関西保育福祉専門学校	1
京都建築大学校	3
京都府立林業大学校	2
神戸愛犬美容専門学校	1
神戸国際調理製菓専門学校	2
神戸スボーアートCoCoCo専門学校	1
神戸製菓専門学校	1
神戸電子専門学校	3
神戸ベルエール美容専門学校	3
辻調理師専門学校	1
トヨタ神戸自動車大学校	5
日産愛媛自動車大学校	1
日本工科大学校	1
日本調理製菓専門学校	3
阪神自動車軌道専門学校	1
ビジュアルアーツ専門学校	1
姫路情報システム専門学校	2
姫路美容美容専門学校	5
兵庫栄養調理製菓専門学校	1
兵庫県立農業大学校	1
兵庫県立ものづくり大学校	1
ネスビタリテニウム専門学校大阪	1
	48

公務員

国家公務員	2
自衛隊	1
兵庫県警	4
香川県警	2
	9

民間就職

藤1H1相生工場	1
藤一宮電機	1
糸川産業機	2
片山特殊工業株式会社	2
カネス製鋼所	1
カマウチ電機株式会社	2
川崎重工業機	1
川崎重工業機石工場	1
衣笠木材機	1
キンキテレコム機	1
神戸製鋼所・加古川製鉄所	1
サンアロイ工業機	2
機三総製作所	1
機ジェイアンドケー	1
社会福祉法人 愛の東海福祉会	1
社会福祉法人 正光福祉会 社会福祉	1
神栄開発機	1
新日鐵住金鋼板製鉄所	1
機トッパンバスタープロダクツ	1
機中の地・有馬ランドホテル	1
日本メンテナンスエンジニアリング機	1
機波賀メイブル公社	1
ハリマ農業協同組合	2
機兵庫旅館・向陽閣	1
兵庫県手延素組協同組合	1
兵庫西農業協同組合	1
機兵庫木材センター	1
フクシン金属工業機	1
ブンセン機	1
マキノデンタルクリニック	1
機満福	1
機美々卯	1
山菱工業機	1
機ネクストステージプロデュース	1
機平見産業	1
メルココントロールプロダクツ機	1
小倉商会	1
機ポイント GLOBALWORK	1
機塚製機	1
	44

平成26年度 離着任職員一覧(敬称略)

離任職員

野谷るり子	教頭	佐用高校
藤井茂樹	事務長	姫路飾西高校
北野聡子	国語	三木東高校
赤穂和之	地歴・公民	退職
尾住英昭	地歴・公民	川西北陵高校
池成利通	数学	退職
前田拓丸	数学	伊川谷北高校
西川麻美子	理科	姫路西高校
河野弘子	音楽	退職
坂本多津子	家庭	三田西陵高校
福永葉子	家庭	退職
須藤育子	地歴・公民	高砂高校
渡部文也	理科	龍野北高校
西澤直彦	体育	千種中学校
山本 緑	英語	三木東高校
柏木悠里	音楽	しらさぎ特別支援学校
田中弘美	事務	伊和高校
藤本香織	事務	龍野北高校

着任職員

小西信吾	教頭	東はりま特別支援学校
尾崎啓一	事務長	夢前高校
東俊介	地歴公民	姫路飾西高校
北山新二	数学	佐用高校
高田健吾	理科	八鹿高校
上杉祝久	体育	尾崎市立琴浦高校
富士本卓	数学	龍野北高校
高島 毅	理科	淡路三原高校
砂本真志	国語	新採用
岡本 潮	地歴公民	新採用
川崎葉子	家庭	佐用高校
松本智恵美	家庭	新採用
高橋園子	音楽	加古川市立加古川養護学校
福地晴彦	英語	佐用高校
小林俊介	地歴公民	大坂府柏原中学校
喜多村健輔	英語	夢前高校
内藤 新	事務	赤穂高校
射延良佳	事務	相生高校

お願いとご挨拶

本会は、皆様にご協力頂いております協力金により、「山崎高等学校同窓会便り」(現在までの名称)の発行ほか会員相互の親睦・交流事業、後輩諸君への支援事業を実施しております。皆様方の温かく力強い支えにより、これらの事業・取り組みが安定的かつ継続的に運営されていることに、改めて感謝申し上げます。今後とも、本会活動へのご支援並びにご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

お便りや、ご感想をぜひお聞かせください。お待ちしております。

平成25年度

同窓会便り発行収支報告書

収入の部

新聞発行協力金 2,111,722円

支出の部

印刷及び封入費用 1,860,728円

送料 1,296,885円

合計 3,157,613円

※不足分は一般会計から補填

編集後記

同窓会新聞の編集作業のお手伝いをさせていただき始めてから、数年ぶりに学校に行く機会が増えました。

制服も変わったけれど、校門から続く坂道、自転車を押しながら通り過ぎていく高校生の後姿はあの頃のまま。笑い声に交じって、友だちの声が聞こえてきそうな気持ちになるから不思議です。

親や先生、いろんな人を守られていることも知らず、大人になった気分です。まじ顔だったあの頃の自分にすれちがったら、かけたい言葉もあるのに。

そんな学校も校舎の改修工事が進んでいます。どんな校舎になるのか次回の同窓会便りでは新しい母校の姿をお伝えすることができると思います。どうぞお楽しみに。

●今回もたくさんの方の原稿をお寄せいただきました。ご協力いただきありがとうございました。また、発行が当初の予定より遅れましたことをお詫びいたします。